取扱説明書

4K 液晶テレビ

品番

JL-65YX10（65V 型）
JL-55YX10（55V 型）
JL-50YX10（50V 型）
JL-43YX10（43V 型）

（JL-65YX10）

ご使用前に必ずお読みください ➡ 3～9 ページ

ご安全のご注意

準備 > 10 ページ

付属品・別売品
本機の設置
壁掛け金具（市販品）の設置
接続

設定・使い方 > 24 ページ

各部の名称と働き
設置設定

必要なとき > 27 ページ

商標などについて
故障かな！？
取り扱いについて
仕様
保証とアフターサービス

このたびは、JVC 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「JVC」は、株式会社 JVC ケンウッドの登録商標です。
  この製品は、株式会社ヤマダホールディングスが株式会社 JVC ケンウッドより商標使用許諾を受けて、企画、製造、販売しています。
- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お買い上げ時、初めて電源を入れたときの設定については、別冊の「スタートガイド / よくあるお問い合わせ」をご覧ください。

保証書付き

72-YX10JP-J02Z5
F0525MH4016

ご案内

取扱説明書（本書）は、安全上のご注意や本機の設置・接続・初期設定など基本的な操作を説明しています。
- 本製品は Amazon.com, Inc. または Amazon の関連会社が製造したものではありません。
- オンラインサービスをお使いになる場合は、Amazon アカウントでのサインインが必要です。
- サービスによっては、別途登録・契約や料金が必要な場合があります。また、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- Fire OS および Fire TV の画面等は随時更新されるため、本書に記載のタイトルやメニューは実際と異なる場合があります。
- 本書は 2025 年 5 月現在の情報に基づいて作成しています。

BS4K/110 度 CS4K 放送について

- 従来の BS・110 度 CS 放送の右旋円偏波の電波で放送される 4K 放送と BS・110 度 CS の左旋円偏波の電波で放送される 4K 放送があります。（本書では「4K 放送」と表現しています）
  また、本機では 8K 放送は受信できません。

サポートサイトのご案内

当社ホームページ内のサポートサイトでは以下の情報を掲載しています。
- テレビの使いこなし
- 各種設定
- よくあるお問い合わせ
- 取扱説明書など

サポートサイト
https://www.yamada-denki.jp/service/y-select/

お持ちのパソコンまたはスマートフォンからご覧ください。
ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

お知らせ
- 本書のイラストなどはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 本書の説明イラストは、JL-65YX10 を元に作成しています。（品番を指定していないとき）
- 本書では、参照いただくページを（➜○○）で示しています。
- 本書では、リモコンの(決定)を押していただく操作を➞で示しています。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水などの液体や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本機に変形や破損した部分がある**

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

⃠ たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

❗
- 発火の原因となります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、はさむ　など)

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ（こたつの中やサウナなど）で使用しない

- 感電・火災の原因となります。

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

- 感電の原因となります。

電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など）は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電源コードは、本機の付属品を使用する

●指定以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。付属の電源コードは国内専用です。

本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない

●他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で使用・放置しない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

●液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

単４形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 警告

本機の上に液体の入った容器などを置かない

液体が内部に入ると火災･感電の原因になります。

水ぬれ禁止

風呂場などで使用しない

火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナケーブルに触れない

感電の原因になります。

接触禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

分解禁止

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

サービスマン以外の方は､裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れない

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

不安定な場所に置かない

落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因になることがあります。
特にお子様に対する多くの傷害は、以下のような予防措置をとることで回避できます。

使用中の本機をそのまま使い続けるか、または再配置する場合も、同様に以下の予防措置をとってください。

- 付属のスタンドをご使用ください。
- 台を使用する場合は、ぐらつきがない堅固なものをご使用ください。また、スタンド設置面は平らで十分に強度があることをご確認ください。
- 台を使用する場合は、本機が台の端からはみ出さないように設置してください。
- 適切な設置場所に本機と台の両方を固定することなく、背の高い台（食器棚や書棚など）に本機を置かないでください。
- 本機と設置する台との間には、布または他の材質のものを敷かないでください。
- 本機に接続するコードやケーブルを引っ掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように設置してください。
- 本機を操作するために、台の上によじ登ることの危険性をお子様に教育してください。
- 本機の上や本機を設置する台の上に、お子様がよじ登りたくなるようなもの（玩具やリモコンなど）を置かないでください。

壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。

- 市販の壁掛け金具に付属しているねじ以外は、使用しないでください。

本機を屋外で使用しない

- 屋内用として設計されています。

病院内や医療用電気機器のある場所で、無線機能を使用しない

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで、無線機能を使用しない

本体やリモコンからの電波が医療用電気機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本体やリモコンを装着部から 15 cm 以上離す

本体やリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない

- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを持って抜く

電源プラグを抜く

電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

通風孔をふさがない

放熱を妨げない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 本機の上面、左右、後面は 10 cm 以上の間隔をおいて据え付けてください。
- スタンド使用時は、本機の下面と床面との空間をふさがないでください。
- 風通しの悪い所で使用しないでください。
- あおむけや、横倒し、逆さまにして使用しないでください。

強い力や衝撃を加えない

画面のガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機を次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

●発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

本機の上に物を置かない、乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。

接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない

火災・感電の原因になることがあります。

移動させる前に接続ケーブルなどを外す（電源プラグ、アンテナケーブル、機器間の接続ケーブルや転倒・落下防止部品）

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っ掛けたりしないように処理を行う

火災・感電・けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

付属のスタンドは、指定の手順以外で組み立てない、取り外さない

倒れてけがの原因になることがあります。（➜11 ～14）

付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する（➜14）

ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止める

転倒・落下によるけがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

開梱や持ち運びは 2 人以上で行う

落下してけがの原因になることがあります。

アンテナ工事は、販売店に相談する

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。
- BS、CS 放送受信用のアンテナは、強風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けてください。

通風孔に付着したゴミをこまめに取り除く

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

- 湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または、修理相談窓口までご相談ください。

（工事専門業者様へ）
壁掛け設置のための取り付け金具を使用するときは、金具の説明書に従って取り付ける

落下してけがの原因になることがあります。

付属品・別売品

付属品

（ ）は個数です。

リモコン（1）　**(➜25)**
品番：N2QBYA000093

リモコン用乾電池（2）　**(➜ 下記)**
単 4 形乾電池

取扱説明書（1）

電源コード（1）　**(➜22)**

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

組み立て部品（一式）　**(➜11)**

転倒・落下防止部品（一式）　**(➜14)**

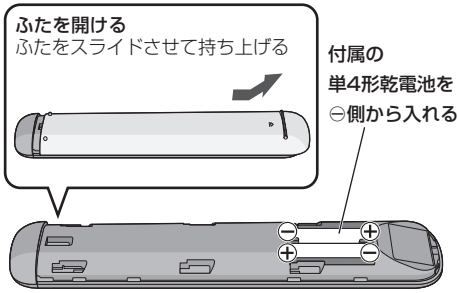
- 本機は従来の B-CAS カードに代わり、「ACAS チップ」を内蔵しています。**(➜33)**
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- ご相談、お問い合わせの際は、お客様のテレビの品番（本書の表紙に記載の JL- ○○○○○）をお伝えください。
- 電源コードキャップ※および包装材料（ステッカーなど）は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。

別売品（市販品）

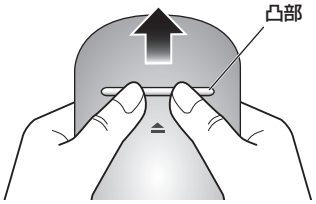
市販の別売品については、お買い上げの販売店へご相談ください。

接続ケーブル・コード
本機と外部機器を接続するときに使用します。
(➜16 ～ 23)

リモコンに電池を入れる



リモコンのふたを開けるコツ



左右の親指をリモコンのふたの凸部に当て、ふたをスライドさせて押し出す

リモコンのふたを閉じるときは、開けるときと逆の手順で閉じてください。

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はアルカリ乾電池をお使いください。（マンガン乾電池も使用できますが、アルカリ乾電池に比べて、電池寿命が短くなります）
- 不要となった電池は、お住まいの市区町村の指示に従って対処してください。電極にはテープを貼り絶縁してください。
- 本機のリモコンは Bluetooth® 通信に対応しています。**(➜23)**

本機の設置

スタンドの取り付け

本項目をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

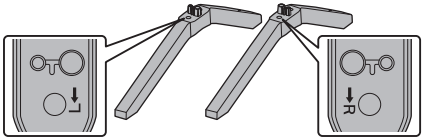
- スタンドを取り付ける際は、包装箱を簡易の作業台として使用するため、包装箱を横に倒して置ける十分なスペースを確保してください。
  テレビ本体よりも大きいしっかりとした机がある場合は、机の上にきれいな柔らかい布を敷いて作業台として使用してください。
- 長さが 12 cm 以上（グリップ部を除く）のプラスドライバー（市販品）をご用意ください。
- ねじは、まっすぐに締めてください。ねじを斜めに締めると、ねじ山が破損するおそれがあります。
- スタンドを取り付けたあとに、必ず転倒・落下防止処置をしてください。 **(➜14)**
- 本機の品番と製造番号は、本体下部左側の側面に表示しています。 **(➜24)**
  お問い合わせの際に必要な場合があります。

取り付けは、必ず 2 人以上で行ってください。

組み立て部品

（ ）は個数です。

スタンド（L、R 各 1）



- 付属のスタンドは、本機専用ですので、本機以外には使用しないでください。

本体固定用ねじ（4）

JL-65YX10
- 黒 M5×27

JL-55YX10 JL-50YX10
- 黒 M5×20

JL-43YX10
- 黒 M4×19

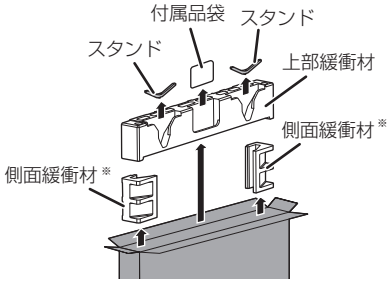
1 包装箱を使って簡易の作業台を作成する

- 包装箱から取り出した緩衝材と包装箱を使って簡易の作業台を作成します。作成に使用する緩衝材は機種によって異なりますので、「(3) 包装箱に緩衝材を差し込む。」でご確認ください。
- イラスト内の上部・下部・側面緩衝材は発泡スチロール製です。緩衝材の形状は機種によって異なります。

JL-55YX10 JL-50YX10
JL-43YX10

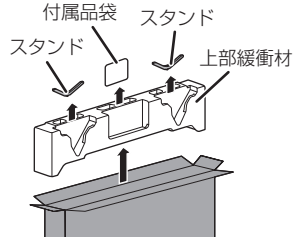
(1) 包装箱から付属品や上部、側面の緩衝材などを取り出す。

JL-55YX10、JL-50YX10:



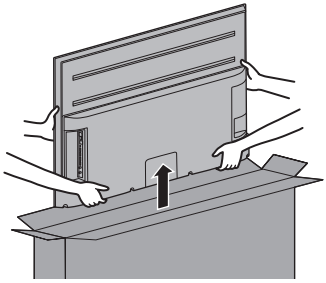
※ JL-55YX10、JL-50YX10 のみ

JL-43YX10:

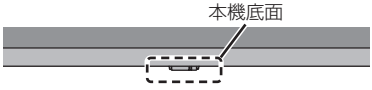


(2) テレビ本体を袋ごと包装箱から取り出す。

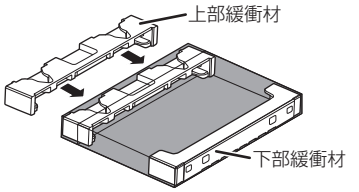
- テレビ本体の下側に手をかけて取り出してください。取り出す際に、画面を強く握らないでください。



- テレビ本体の底面にリモコン受信部やボタンなどがありますので、床に当てるなどで強い衝撃を与えないでください。

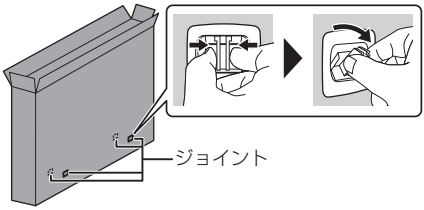


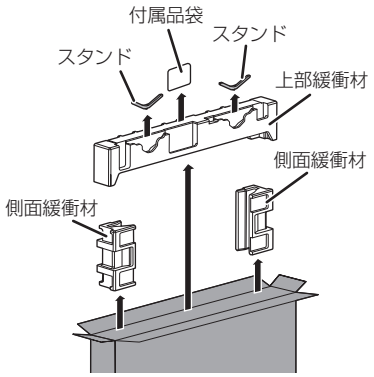
(3) 包装箱に緩衝材を差し込む。
上部緩衝材を下のイラストのように、包装箱に配置してください。
- 1 人が簡易の作業台を作成し、もう 1 人はテレビを支えてください。支える際は、画面を強く握らないでください。また、衝撃を与えないでください。
- 下部緩衝材が包装箱の底に配置されていることを確認してください。



JL-65YX10

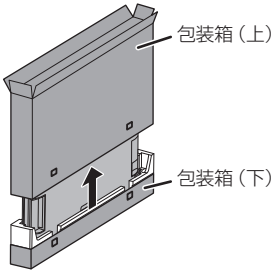
(1) ジョイント（4 個）を外して、包装箱から付属品や上部、側面の緩衝材などを取り出す。



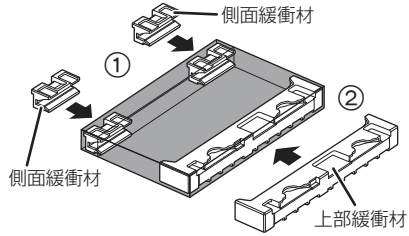


(2) 包装箱（上）を抜き取る。
- テレビ本体は、包装箱(下)に入った状態で立たせておきます。

包装箱（上）がテレビ本体に当たらないように抜き取ってください。



(3) 包装箱に緩衝材を差し込む。
下のイラストのように、緩衝材を配置してください。
① 側面緩衝材を包装箱（上）の両端に寄せて配置する。
② 上部緩衝材を包装箱（上）に配置する。

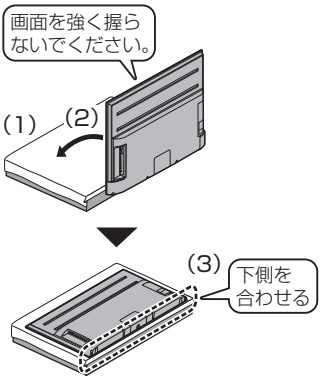


2 テレビ本体を簡易の作業台に置く
(1) 簡易の作業台の上に布を敷く。
- 布がない場合は、手順(2)のテレビ本体を入れていた袋を簡易の作業台の上に敷いてください。

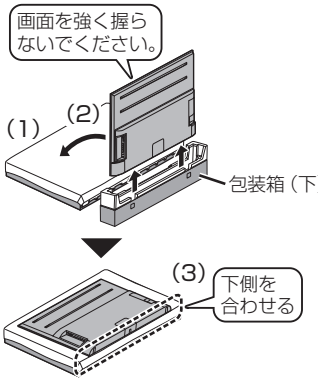
(2) テレビ本体を袋から出して簡易の作業台の上に置く。
- テレビ本体の前面(画面側)を下にしてください。

(3) テレビ本体と包装箱の下側を合わせる。
- 衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。

JL-55YX10　JL-50YX10
JL-43YX10



JL-65YX10

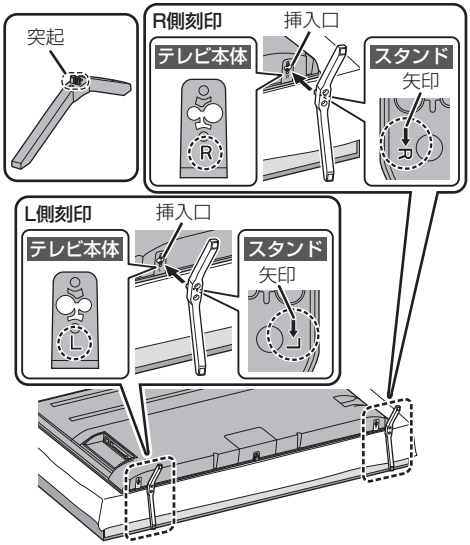


3 テレビ本体にスタンドを取り付ける

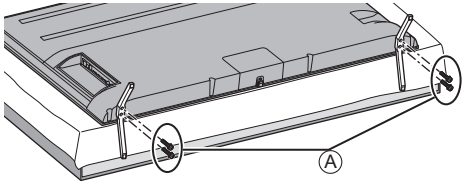
- スタンドは、ねじで固定するまで外れやすいのでご注意ください。

(1) スタンドの突起を、テレビ本体の挿入口に差し込む。

- テレビ本体のL側にはLのスタンド、R側にはRのスタンドを差し込んでください。刻印の位置は、機種によって異なります。
- スタンドの矢印の方向を下側にして差し込んでください。



(2) スタンドを支えながら、本体固定用ねじ（4本）を使って、しっかりと固定する。



4 本機を起こす

- 画面を強く握ったり、指で強く押さないようにしてください。

スタンドを取り外すときは

- 電源コードやアンテナケーブル、機器間の接続ケーブル、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒・落下防止対策

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

- 転倒・落下防止処置は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
  付属の転倒・落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- 転倒・落下防止対策は、すべての接続が完了してから行ってください。

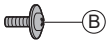
台を使用する場合は、必ず台と壁面の両方に固定してください。

転倒・落下防止部品

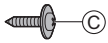
（ ）は個数です。

ベルト (2)

ねじ（ベルト用）黒 (2)

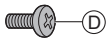


木ねじ 黒 (2)



金具 (2)

JL-50YX10
JL-43YX10
ねじ（金具用）黒 (2)

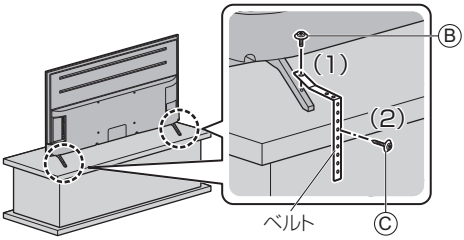


1 台などに固定する

必ず、左右 2 か所とも取り付けてください。

(1) スタンドにベルトを取り付ける。
(2) 台などに固定する。

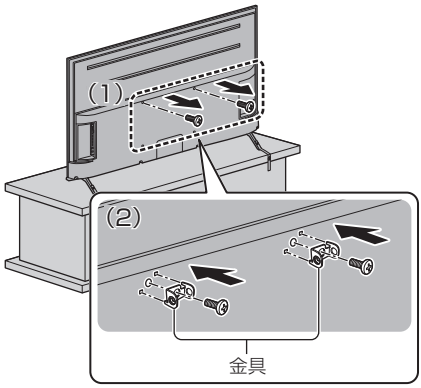
- 設置する台などの取扱説明書の指示に従って取り付けてください。



2 壁面に固定する

JL-65YX10 JL-55YX10

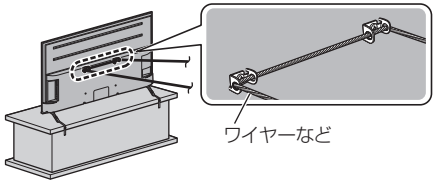
(1) 本体背面上部のねじ（2か所）を取り外す。
(2) 取り外したねじを使って、本体背面上部の 2 か所に金具を取り付ける。

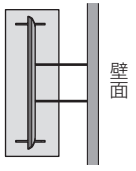


JL-50YX10 JL-43YX10
本体背面上部の 2 か所にねじ（金具用）（Ⓓ）を使って金具を取り付ける。

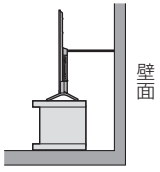
(3) 取り付けた金具にワイヤー（市販品）などを通して固定する。

- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。





<上から見た図>



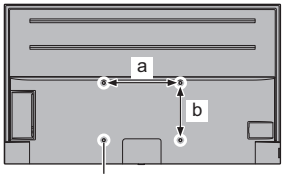
<横から見た図>

壁掛け金具（市販品）の設置

本機を市販の壁掛け金具で設置することができます。設置する場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け寸法

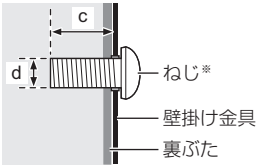
（テレビ本体背面）



取り付け用ねじ穴

取り付け面からのねじの長さ

（断面図）



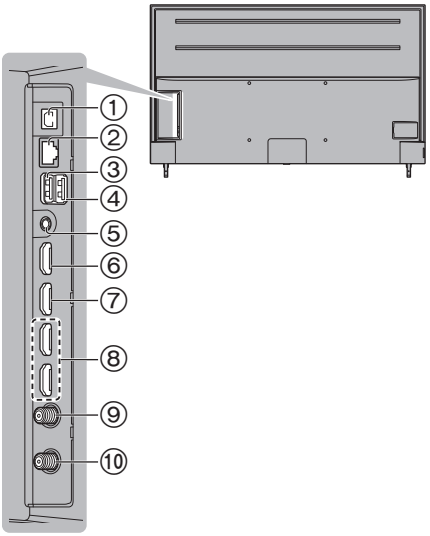
※ねじは本機の付属品ではありません。

	a	b	c	d
JL-65YX10	400 mm	300 mm	12 ～ 20 mm	M6
JL-55YX10	400 mm	300 mm	12 ～ 20 mm	M6
JL-50YX10	200 mm	200 mm	12 ～ 17 mm	M6
JL-43YX10	200 mm	200 mm	10 ～ 12 mm	M6

お願い

- 壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 壁掛け金具の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。
- 設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。
- 先端部の長いケーブルを使用するときは、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。
- 本機の使用を終了した場合には、落下などを防ぐため本機と壁掛け金具を取り外してください。

端子部について



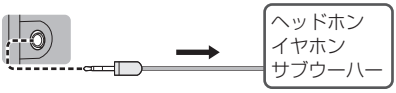
① デジタル音声出力（光）端子
- アンプなど、光デジタル音声入力対応機器を接続します。

② LAN 端子 **（➜21）**

③ USB 1（録画用）端子 **（➜20）**

④ USB 2（AV 周辺機器用）端子 **（➜20）**

⑤ ヘッドホン／イヤホン／サブウーハー出力端子（φ3.5 mm ステレオミニジャック）



- 市販のヘッドホンやイヤホンを接続するときは「オーディオ出力モード」を「ヘッドホンのみ」に設定してください。
- 市販のサブウーハーを接続するときは「オーディオ出力モード」を「スピーカーとサブウーハーの同時出力」に設定してください。本機からのサブウーハー出力は、L、R とも同じ信号が出力されます。接続ケーブルは、お使いのサブウーハーに応じたケーブルをご使用ください。

⑥ HDMI 1（4K144 Hz）入力端子 **（➜19）**

⑦ HDMI 2（4K144 Hz）（eARC/ARC）入力端子 **（➜19）**

⑧ HDMI 3 ～ 4 入力端子 **（➜19）**

⑨ BS・CS アンテナ接続端子 **（➜17、18）**

⑩ 地上デジタルアンテナ接続端子 **（➜17、18）**

お知らせ

- 説明に出てくる外部機器やケーブルなどは、本機の付属品ではありません。
- 接続する機器によって、使用するケーブルが異なります。外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。
- 接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。

- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、ドルビービジョン、Dolby Vision IQ、ドルビービジョン IQ、Dolby Atmos、ドルビーアトモス、Dolby Audio、ドルビーオーディオ及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Confidential unpublished works.
Copyright © 1992-2024 Dolby Laboratories.
All rights reserved.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

テレビ放送を受信する（地上デジタル /BS4K・110 度 CS4K 放送など）

お知らせ

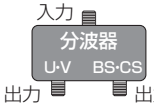
- アンテナケーブルは同軸ケーブルをご使用ください。同軸ケーブルを本機のアンテナ接続端子に接続する場合は、F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 同軸ケーブルや F 型接栓などは、シールド性能が高いものをご使用ください。

同軸ケーブル

F型接栓

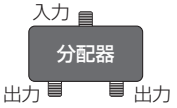
- 分配器を使って本機と録画機器にBS･110度CSアンテナを接続する場合は､アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器をご使用ください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど市販の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

分波器



混合している複数の電波を BS･CS と UHF･VHF に分波します。

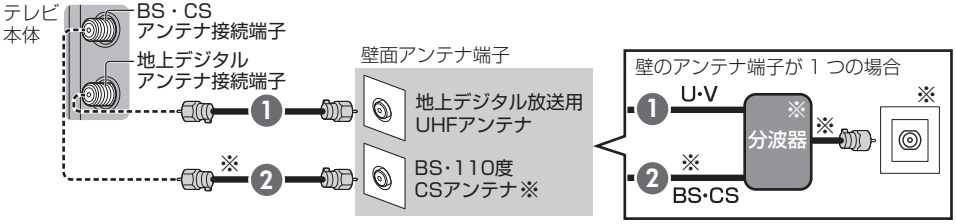
分配器



電波を本機と録画機器など複数の機器に分配します。

- 接続図は一般的な例であり、接続方法によって新たにご準備いただくものは変わります。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

アンテナと接続する



左旋円偏波対応の BS・110 度 CS アンテナに接続する場合

- 有料放送を含むすべての BS4K 放送と 110 度 CS4K 放送を視聴することができます。
- 左旋の電波は、BS・110 度 CS アンテナで受信した場合、従来の右旋の信号より高い周波数に変換されて宅内の配線で伝送されます。このため、左旋の放送を視聴するにはアンテナ交換に加え、高い周波数（2.2 GHz ～ 3.2 GHz）の信号を伝送できる機器（SH マーク（ SH ）が表示された機器など、4K 放送に対応した機器）に交換する必要があります。交換が必要な機器は、分波器、分配器などがあります。（交換が必要な機器を※で表しています）

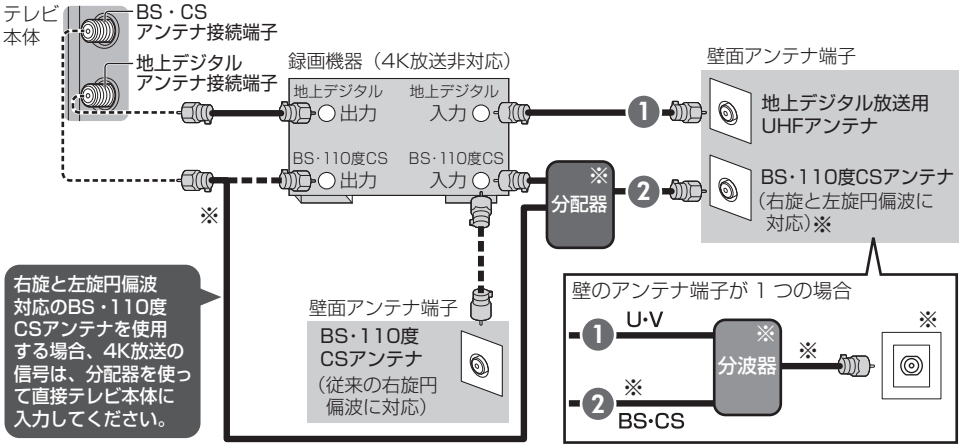
従来の右旋円偏波対応の BS・110 度 CS アンテナに接続する場合

- 現在ご使用のアンテナ（右旋円偏波対応の BS･110 度 CS）設備で､従来の BS 放送と 110 度 CS 放送に加え、右旋放送の BS4K 放送を視聴できますが、ご使用中の設備機器などの性能などによっては、機器交換が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

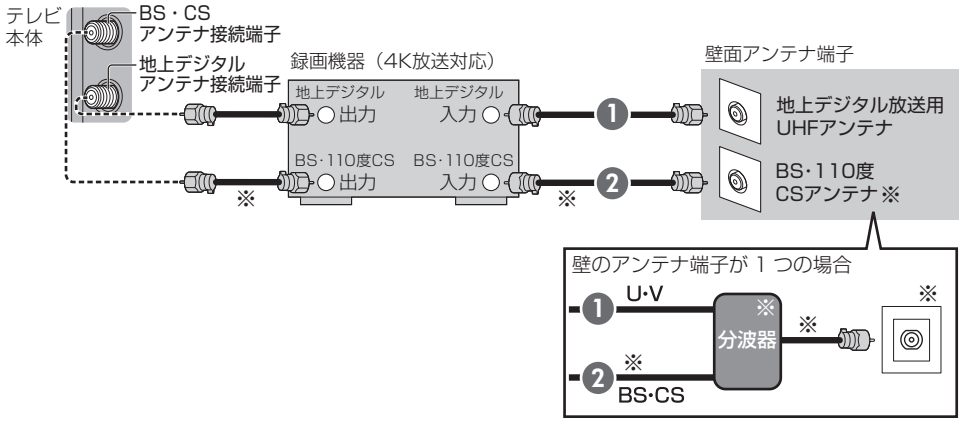
4K 放送非対応の録画機器を中継して接続する

従来の右旋円偏波対応の BS・110 度 CS アンテナを使用する場合は、 ▬▬ のように分配器を使わずに録画機器を中継して接続できます。

●4K 放送非対応の録画機器のチューナーでは、4K 放送は視聴・録画ができません。



4K 放送対応の録画機器を中継して接続する



※左旋円偏波の 4K 放送を視聴するためには、「SH マーク」が表示された機器など、4K 放送に対応した機器をご使用ください。

お知らせ

- 4K 放送は従来の BS･110 度 CS 放送の右旋円偏波の電波と BS･110 度 CS の左旋円偏波で放送されます。2025 年 5 月時点では、BS･110 度 CS での左旋円偏波を用いた 4K 放送は実施されていません。
- 接続方法や接続機器については、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 宅内の配線や機器から電波が外部に漏れないよう、適切な機器の使用や工事が必要です。
- 有料放送の視聴には別途契約が必要です。契約には「ACAS 番号」**（➔33）**が必要となります。

映像／オーディオ機器と接続する

●接続ケーブルは、お使いの機器に応じたケーブルをご使用ください。

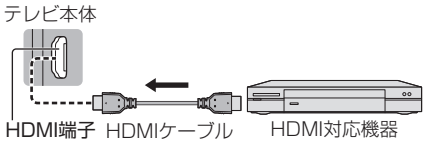
HDMI 端子の接続（HDMI 対応機器）

HDMI 端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI 対応機器との接続には、HDMI ロゴのある「High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。

●HDR 対応機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある「Premium High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。

●4K120 Hz/144 Hz 対応機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある「Ultra High Speed HDMI ケーブル」をご使用のうえ、HDMI 1、または 2 端子に接続してください。



HDMI オート設定について

本機は、4K 対応機器接続時に、より高精細かつ広色域、高フレームレートの映像を再生できるよう対応しています。モードが 3 種類あり、状況に応じて設定を変更してください。設定を変更するには、入力切換ボタンで機器を接続している HDMI 入力に切り換え、「HDMI オート設定」（**メニュー**の「映像調整」→「HDMI 設定」）を選んでください。

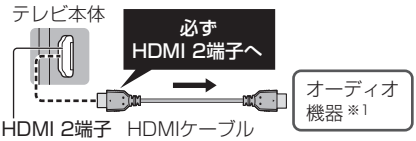
●モード 1:
接続機器との互換性を優先するモードです。モード 2、モード 3 で映像や音声が正しく出力されない場合に設定します。（映像が赤いときや音声が出ないときなど）

●モード 2:
高精細に対応するモードです。（HDMI 3、4 端子のお買い上げ時の設定）

●モード 3:
高精細、高フレームレートに対応するモードです。HDMI 1、2 端子のみ設定できます。
（HDMI 1、2 端子のお買い上げ時の設定）

eARC/ARC 対応のオーディオ機器を接続する

●eARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）／ ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、HDMI 端子からデジタル音声信号を送る機能です。
eARC は、HDMI 2.1 で規格化された機能です。本機は、eARC および ARC のオーディオフォーマットに対応しています。



※ 1 サウンドバーや AV アンプなどの eARC ／ ARC 対応オーディオ機器

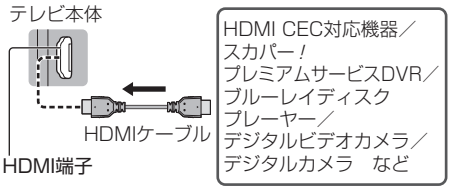
HDMI 端子の接続（HDMI CEC 対応機器）

本機と HDMI CEC（Consumer Electronics Control）対応機器を HDMI ケーブルで接続すると、HDMI CEC の機能を使うことができます。

●HDMI 規格に準拠していないケーブルでは、動作しません。

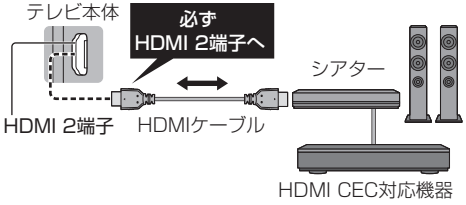
●HDMI CEC は接続する機器によって、使える台数が決まっています。
（例えば、本機の HDMI1 ～ 4 の端子に HDMI CEC 対応機器を 4 台接続して利用する場合、HDMI CEC が使えるのは、HDMI CEC 対応機器 3 台までです。4 台目の HDMI CEC 対応機器では HDMI CEC は使えませんが、手動で HDMI 4 へ入力切り換えをすると視聴することができます）

HDMI CEC で再生に使う機器を接続する

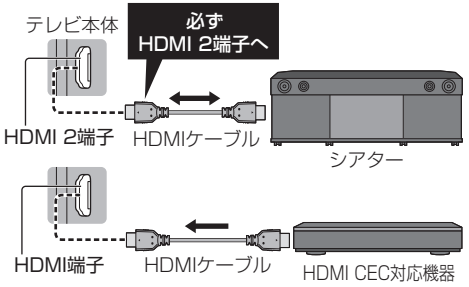


HDMI CEC で操作するシアター機器を接続する

- シアターは、ラックシアターやサウンドセットなどの総称です。
- この接続は eARC/ARC 対応のシアターの例です。eARC/ARC 非対応のシアターの場合は、別途光デジタルケーブルでの接続が必要です。(➔16)
- シアターは、本機と HDMI CEC 対応機器の間に接続します。



- **4K映像に対応しているHDMI CEC対応機器とシアターを接続するときは**
  シアターの HDMI 端子が 4K 映像信号に対応していることをご確認ください。シアターの HDMI 端子が対応していない場合、4K 映像を見るには、HDMI CEC 対応機器を本機の HDMI 端子に直接接続してください。

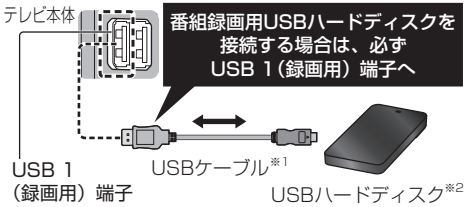


USB 機器と接続する

USB 端子の接続

USB ハードディスクなどの USB 機器を接続し、コンテンツ再生や番組録画などができます。

- 本機の USB 端子は、USB ハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器は接続しないでください。
- USB ハードディスクは、すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 録画や再生中など、USB 機器の使用中は、電源プラグを抜いたり、USB 機器を外したりしないでください。機器の故障やデータの破壊の原因となります。
- USB ハブを使用して接続しないでください。
- 故障で本機を修理した場合などは、USB ハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。



再生機器（ビデオカメラなど）は、USB2（AV 周辺機器用）端子に接続してください。

※ 1 スーパースピード USB（USB3.0）対応の USB ハードディスクを接続するときは、スーパースピード USB（USB3.0）対応の USB ケーブルをご使用ください。

※ 2 **番組録画用 USB ハードディスクは、本機専用として使用してください。本機で登録したあとに他の機器で使用するには、再フォーマットが必要になり、データはすべて消えてしまいます。**USB ハブを使って複数の USB ハードディスクを同時に接続することはできません。
（8 台まで本機に登録できますが、一度に使用できる USB ハードディスクは 1 台です）

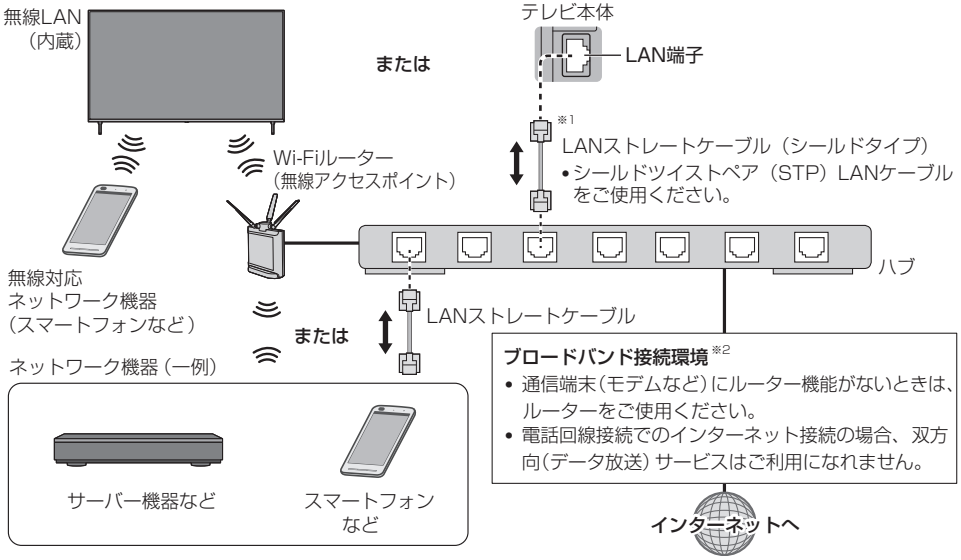
ネットワーク／ネットワーク機器と接続する

ブロードバンド環境で本機をネットワークに接続すると、様々なアプリやサービスを利用することができます。

- 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。
- LAN 端子には、LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 本機と Wi-Fi ルーター（無線アクセスポイント）間の無線方式は、11ac または 11n（5 GHz）を推奨します。
- ネットワーク機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- お客様の情報の取り扱いについては **（➜33）**

ネットワークおよびネットワーク機器の接続

初めて本機を使用するときは、お買い上げ時の設置設定でネットワーク接続の設定を行います。



※1 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

※2 本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて

- 提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。

インターネット接続について

- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。セキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターの設定・使用方法やネットワークのセキュリティーなどに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティー設定（暗号化設定）を行ってください。

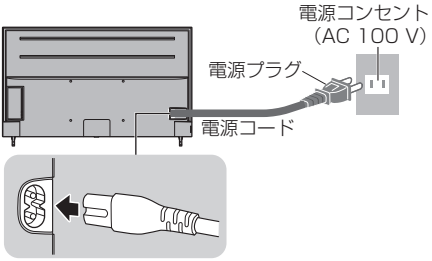
ホームネットワーク接続について

- FTTH（光）回線終端装置・ケーブルモデムにルーター機能がない場合は、ルーターをご使用ください。

電源コードの接続

電源コードを本体側面に、奥までしっかりと差し込んでください。

- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 電源プラグは、すべての接続が完了してから電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードを外すときは、必ず、電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。



リモコンの登録（ペアリング）

本機に付属のリモコンは、Bluetooth® 通信に対応しています。リモコンを本機に登録すると、本機とリモコンの通信はBluetooth®無線技術で行われますので、テレビ本体のリモコン受信部に向けることなくリモコンを操作することができます。お買い上げ後リモコンを初めて使う際に、自動的に登録されます。

- 登録は、テレビ本体のリモコン受信部に向けて、約 50 cm 以内に近づけて行ってください。（➜24）
- リモコンの電池残量が少ないときなど、正しく登録できないことがあります。
- 音声操作はリモコンが登録されている場合のみ使用することができます。（➜26）

登録に失敗したときは

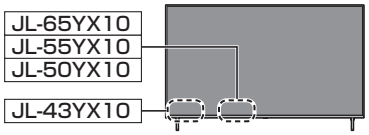
画面に登録に関する表示がある場合は、画面の指示に従って、再度、登録をしてください。
画面に登録に関する表示がない場合は、リモコンをリセットします。リモコンの電池を抜いて 1 分待ち、再度電池を入れて確認してください。
それでもリモコンの登録に失敗する場合は、リモコンを初期化してください。（➜29）

Bluetooth® 機器の登録について

本機は Bluetooth® 通信に対応しています。
Bluetooth® 機器を登録（ペアリング）すると、本機と接続（通信）できます。

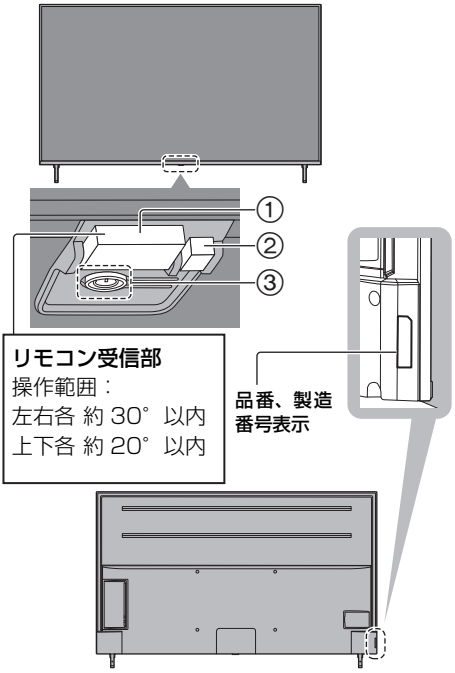
- 本機にBluetooth®機器を登録するときは、本機から 50 cm 以内に近づけてください。
- 本機に対応していないBluetooth®機器は、登録できません。
- 本機に登録したBluetooth®対応機器を、他の機器に登録して使用すると、本機で使用できなくなることがあります。この場合は、再度、本機に登録してください。
- 本機は、A2DP対応のBluetooth®オーディオ機器を登録することができます。無線技術の特性により映像と音声再生において遅延が発生します。また、複数の A2DP 対応オーディオ機器を同時に使用することはできません。

Bluetooth® 送受信部（テレビ本体背面に内蔵）



各部の名称と働き

テレビ本体



① **リモコン受信部（赤外線通信用）**

赤外線リモコンで操作するときは、リモコンをこの部分に向けて操作してください。

明るさセンサー受光部

視聴環境の明るさに応じて最適な画質に自動調整することができます。機能を使用する場合は、「明るさ連動」（**メニュー**の「映像調整」→「環境光センサー」）を「オン」に設定してください。

② **電源ランプ**

緑色点灯：電源「入」
周りの明るさに応じて、見やすい明るさに自動調節します。
緑色点滅：テレビ起動中
赤色点灯：リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」（スタンバイ）
橙色点灯：機能待機中※1

※ 1 録画中、録画待機中など

③ **電源ボタン [⏻]**

（電源ボタンはリモコン受信部 / 明るさセンサー受光部、電源ランプの奥にあります）
電源ボタンを押すと、テレビの電源が入ります。

- 電源が入った状態で電源ボタンを押すと、操作ガイドが表示されます。電源ボタンを押すたびに項目が「電源オフ」、「入力」、「音量を上げる」、「音量を下げる」、「チャンネル番号アップ」、「チャンネル番号ダウン」、「終了」の順に切り換わり、約2秒長押しすることで各項目を操作することができます。
- テレビの電源を切るときは、操作ガイドで「電源オフ」が表示されているときに電源ボタンを約 2 秒長押ししてください。電源「切」後、本機はスタンバイモード※2 になります。リモコンまたは本機の電源ボタンで電源を「入」にすることができます。

※ 2 スタンバイモードでは、録画機能、サーバー機能などが利用可能です。

- リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切った場合でも電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- リモコン受信部（赤外線通信時）/ 明るさセンサー受光部の前にものなどを置かないでください。また、リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

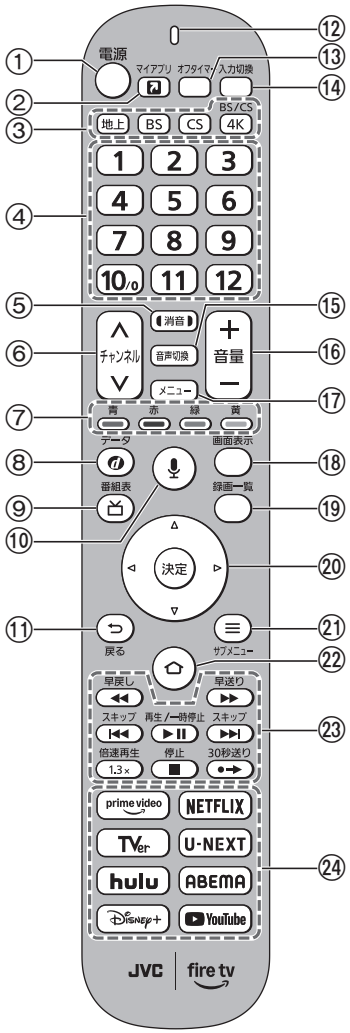
お知らせ

- リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」の場合も、一部の回路は通電しています。

本機のリモコンはBluetooth®通信に対応しています。
Bluetooth®通信で接続するには登録(ペアリング)が必要です。

リモコン

●電池の入れ方については（➜10）



① 電源を「入」「切」（スタンバイ）する
- 長押しすると、アンビエントディスプレイとの切り換えができます。

② 登録したアプリを表示する
お気に入りのアプリを１つ、このボタンに登録することができます。初めてボタンを押すと登録画面が表示されますので、表示内容に従って登録してください。

③ 放送を切り換える（放送切換ボタン）
④ チャンネルを直接選ぶ / 文字を入力する
⑤ 音を一時的に消す（もう一度押すと解除）
⑥ チャンネルを順送りで選ぶ
⑦ 画面の指示に従って使う（カラーボタン）
⑧ データ放送を表示する
⑨ 番組表※を見る
⑩ 音声で操作する（音声認識ボタン）（➜26）
⑪ １つ前の画面に戻る
⑫ 音声操作マイクを使って操作する（➜26）/ リモコン使用時に様々な色で点灯する(リモコンランプ)
⑬ 自動的に電源を切りたいときに設定する
⑭ 外部入力に切り換える（レコーダー・DVD など）
⑮ ２か国語などを切り換える
⑯ 音量を調整する（画面上部に音量を表示）
⑰ 映像調整、音声調整、画面の設定などの項目を表示する（**メニュー**）
⑱ 番組のタイトルなどを表示する
⑲ 録画一覧を表示する
⑳ 選択および決定する
㉑ サブメニューを表示する
㉒ ホーム画面を表示する
- ホーム画面で⚙を選ぶと、本機の詳細な設定画面（**設定**）を表示します。
- ホーム画面からテレビ放送を視聴するには（➜26）
- ホーム画面について、詳しくは別冊のスタートガイドもご覧ください。

㉓ HDMI CEC 対応機器や USB ハードディスクなどの外部機器を操作する
㉔ インターネットにつないで、各種サービスを利用する
Prime Video、Netflix、TVer、U-NEXT、Hulu、ABEMA、Disney+、YouTube
- サービスによっては、別途登録・契約や料金が必要な場合があります。また、予告なく変更・停止・終了する場合があります。

※本機の番組表は G ガイドを使用しています。

お願い
- テレビ本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 故障の原因になりますので、リモコンを落とさないように、また、水などの液体をかけないようにご注意ください。

音声操作について

音声操作マイクに向かって発話した言葉を認識し、テレビのチャンネル選択や音量調整、番組検索、インターネット検索などができます。リモコンがテレビ本体に登録（ペアリング）されていない場合は、登録（ペアリング）をしてください。（➜23）

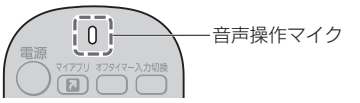
Amazon Alexa（音声アシスタント）について

リモコンのマイクを使ってAlexaを使用できます。検索、再生、一時停止、早送りなど、コンテンツの音声コントロールをお楽しみください。リモコンのマイクを使って、声だけでお気に入りの映画やテレビ番組をすぐに視聴できます。

- Alexa をお使いになる場合は、本機をインターネットに接続する必要があります。（➜21）
- 音声操作が有効な距離は、使用環境によって異なります。
- Alexa は、地域と言語によってはご利用いただけない場合があります。
- お使いになる人の声質や話し方、周囲の環境や状況によっては正しく動作しないことがあります。
- その他 Bluetooth® 機器を同時接続している場合、接続機器により音声操作が正常に動作しないことがあります。
- 一部の音声サービスは準備中の場合があります。

音声で操作する

(🎙)を押したままにして、音声操作マイクに向かって発話する



- 音声操作や音声サービスの機能は予告なく変更する場合があります。

お買い上げ時の設置設定とホーム画面について

ご購入後、初めて本機の電源を入れると、言語設定画面が表示されます。そのあと、ネットワークの設定やAmazonアカウントのサインイン、テレビ放送のチャンネル設定などの設定を行います。画面の指示に従って設定を行ってください。
設定が終わると、ホーム画面が表示されます。

- 詳しくは、別冊のスタートガイド/よくあるお問い合わせをご覧ください。
- 外部機器と接続する場合は、設置設定を実施する前に、接続を済ませてください。（➜16～22）
- それぞれの設定は、あとから変更することができます。

ホーム画面からテレビ放送を視聴するには

(1) 📺 を選んでリモコンの を押す

(2)リモコンの で視聴したい放送局を選ぶ

- 放送切換ボタンを押すことでもテレビ放送に切り換えることができます。テレビ放送に切り換え後、チャンネルを選んでください。

信号品質を確認する（アンテナレベル）

個別のアンテナで受信しているとき、アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとの信号品質（受信する電波の質）を確認することができます。
アンテナレベルの信号品質は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。また、信号品質は天候、季節、地域、チャンネル、アンテナシステムの条件などにより変動することがありますので、十分な余裕を取ることをお勧めします。

アンテナレベルの信号品質を確認するには

(1)テレビ放送視聴中に(☰ サブメニュー)を押す

(2)「アンテナレベル」を選び、(決定)を押して、アンテナレベルを確認する

- 受信可能な信号品質の目安
  - 地上デジタル　44 以上
  - 衛星デジタル　54 以上

- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- ビットエラーレートは、信号に起きたエラーを表す数値で、Eの右側が00から−08、−07、−06の順にエラーが大きいことを意味します。視聴可能な目安は以下の範囲内です。
  - 地上デジタル、BS、CS　0.00E+00 ～ 2.00E−04
  - BS4K、CS4K　0.00E+00 ～ 1.00E−07

商標などについて

- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- G ガイドは、米国 Xperi Inc. および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド（EPG）が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド（EPG）の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

  詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA3™、WPA2™、WPA™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
  ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
  © 2023-2025 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の登録商標です。
- Amazon、Prime Video、Fire、Alexa 及びこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc. 又はその関連会社の商標です。
- © Disney
- 「JVC」は、株式会社 JVC ケンウッドの登録商標です。この製品は、株式会社ヤマダホールディングスが株式会社 JVC ケンウッドより商標使用許諾を受けて、企画、製造、販売しています。
- © 2023 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD, the AMD Arrow logo, FreeSync and combinations thereof are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc.
- This product complies with the UHD Alliance Technical Specification: UHDA Specified Reference Mode, Version 1.0. FILMMAKER MODE™ logo is a trademark of the UHD Alliance, Inc. in the United States and other countries.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

NetFront® Browser

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

AMD
FreeSync
Premium

G-GUIDE®

商標などについて（続き）

"PlayReady" is a trademark registered by Microsoft. Please be aware of the following.

(a) This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(b) Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies.

Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content.

If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

(1) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア

(2) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア

(3) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (1) - (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細な利用規約は以下の手順で表示できます。

(1) ⌂ でホームを表示し、⚙ を選択します。

(2) デバイスとソフトウェア > 規約等 > 法律に関する通知を選択します。

This product incorporates the following software:

(1) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2.0 (GPL V2.0),

(2) the software licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL V2.1), and/or,

(3) open sourced software other than the software licensed under the GPL V2.0 and/or LGPL V2.1.

The software categorized as (1) - (3) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The detailed terms and conditions can be shown by the following steps,

(1) Display Home with ⌂ and select ⚙.

(2) Select Device & Software > Legal & Compliance > Legal Notices.

故障かな !?

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前に以下の手順に従ってご確認ください。

1 テレビをリセットする

電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上たってから、再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

電源プラグの抜き差しができない場合は、以下のどちらかで再起動してください。

- リモコンを使い、「再起動」（**設定**の「デバイスとソフトウェア」）を実行してください。
- 本体の電源ボタンを15秒以上押して、本機を再起動してください。

本体の電源ランプが赤色点滅する場合は（**➜30**）

解決しないとき

2 マニュアルを確認する

- 電源 / リモコンのトラブルは（**➜ 右記**）
- よくあるお問い合わせは（**➜30**）

解決しないとき

3 当社ホームページのサポートサイトを確認する

https://www.yamada-denki.jp/service/y-select/

サポートサイトでは、以下の情報などを掲載しています。

- よくあるご質問
- ソフトウェアのダウンロード情報　など

解決しないとき

4 映像音声テストを実施する

「映像音声テスト」（**設定**の「デバイスとソフトウェア」）で、テレビ本体の映像や音声に異常があるかご確認ください。

（異常がある場合は、その状況をお問い合わせの際にお知らせください）

5 問い合わせる

お買い上げの販売店または、修理相談窓口へご連絡ください。

- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。

電源 / リモコンのトラブル

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（**➜22**）
- 電源コードが本体から抜けていませんか？（**➜22**）

リモコンで操作できない

- リモコンがテレビ本体に登録（ペアリング）されていますか？（**➜23**）
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？（**➜10**）
- 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。左記の「1 テレビをリセットする」の項目をご確認のうえ、実行してください。
- リモコンをリセットする
  リモコンのふたを開け、電池を抜き差ししてください。（**➜10**）

リモコンのふたの開け方は 10 ページをご参照ください

解決できない場合は、リモコンを初期化して、再度登録してください。

(1)以下のボタンを同時に 12 秒間押し続ける

(2)ボタンから指を離して、5 秒間待つ

(3)電池を取り出して、再度挿入する

- 画面にペアリングの説明が表示されている場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 画面にペアリングの説明が表示されていない場合は、「新しいリモコンを追加」（**設定**の「コントローラーと Bluetooth デバイス」>「Alexa 対応音声認識リモコン」）を選んで、画面に従って登録してください。

故障かな !? (続き)

テレビ放送について

4K 放送が映らない

- 「SH マーク」が表示された機器など、4K 放送に対応した機器が必要です。 **(➔17、18)**
- 4K 放送非対応の録画機器を経由してテレビ本体に接続している場合は、分配器を使って、4K 放送の信号を直接テレビ本体に入力してください。 **(➔18)**
- BS・110度CSアンテナを左旋円偏波対応のアンテナに交換した場合は、**設定**の「録画したい番組を削除せずにリセット」(**設定**の「デバイスとソフトウェア」→「工場出荷時の設定にリセット」) を実行して、お買い上げ時の設置設定をやり直して、受信チャンネルを再設定してください。

映像が出ない

- 一時的に保護機能が働いた可能性があります。テレビをリセットすることで改善することがあります。本体の電源ボタンを 15 秒以上押して、本機を再起動してください。

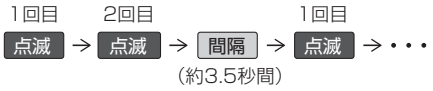
BS・110 度 CS アンテナの種類の設定に時間がかかる場合がある

- 設置環境に合わせたチャンネルを選局するため、スキャンを実施していますので時間がかかる場合があります。

本体の電源ランプが赤色点滅する場合

電源ランプが赤色点滅する
(リモコンを操作していないとき)

- 画面が消え、本体の電源ランプが赤色点滅する場合、何らかのトラブルが発生した可能性があります。点滅回数をご確認いただき、お買い上げの販売店または、修理相談窓口までご相談ください。
  点滅回数の数え方:
  例) 2 回のとき
  2 回点滅し、約 3.5 秒間消灯したあと、再度点滅を繰り返します。



よくあるお問い合わせ

同梱のスタートガイドによくあるお問い合わせを一覧で記載しています。
下記サポートサイトと併せてご参照ください。

サポートサイト
https://www.yamada-denki.jp/service/y-select/

以下の場合は、故障ではありません

液晶パネル特有の現象により、画面に赤、青または緑の点が発生する場合があります

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99 パーセント以上の有効画素がありますが、0.01 パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

液晶パネルとキャビネットの間には隙間があります また、液晶パネルを押すと動いたり、「カタカタ」と音がする場合があります

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります

- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
  画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットが僅かに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
  番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
  デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。

テレビ本体の温度が高くなる部分があります

- 本機をご使用中に、テレビ本体のパネル面やキャビネット、アンテナ接続端子など、温度が高くなる部分がありますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

リモコンを操作していないときに電源ランプが緑色点滅することがあります

- 本体の電源ボタンで電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅しますが、故障ではありません。

Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続し、再生すると音声の遅延が発生します

- 無線技術の特性により映像と音声再生において遅延が発生しますが、故障ではありません。

お手入れについて

テレビ本体およびリモコン

お手入れをするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 化学薬品が使われていない、乾いた柔らかい布（綿・ネル地・クリーニングクロスなど）でふいてください。かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- 汚れがひどいときは、ほこりをはらったあと、水で 100 倍程度に薄めた中性洗剤に浸した布を、かたく絞って軽くふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 市販のクリーニングクロス（テレビ用）をご使用の際、以下の成分※などが記載されているものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
  ※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
- ゴムやビニール製品などは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、長時間接触させないでください。
- スプレー洗剤などは、液体が内部に入ると故障の原因になりますので、直接かけないでください。

設置するとき

直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。

機器相互の干渉に注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などを避けます。
- 本機は無線 LAN を内蔵しており、コードレス電話などと干渉する場合がありますのでご注意ください。

本機を移動するとき

- パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。
- 必ず 2 人以上で行ってください。

アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
  映りが悪くなったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。
- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。
- 必ず2人以上で安定した体勢で運搬してください。

ご使用になるとき

適度の音量にして隣近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をお勧めします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約３倍程度（4K 映像は約 1.5 倍程度）、また新聞が楽に読める明るさでご視聴ください。

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります
そのままご使用になると故障の原因になります

- 部屋の温度になじむまで電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。（約 2 ～ 3 時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めている場所など）には設置しないでください。

虫の入りやすい場所で使用しない

- 内部にクモやアリなどが侵入すると、故障の原因になります。

硫黄や塩害の発生しやすい場所で使用しない

- 内部が腐食し、故障の原因になります。

リモコン、スマートスピーカー、スマートフォンなどでテレビの電源を制御する機能を使うときは、本機が見える位置から操作してください

- スマートフォンなどで操作するとき、設定によっては、本機の電源が自動的に「入」になります。

ミラーリング対応端末について

お手持ちの端末のミラーリング機能については、端末の取扱説明書をご覧になるか、製造元にお問い合わせください。ただし、ミラーリング機能対応端末との動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。（2025 年 5 月現在）

本機上で提供されるアプリについて

- アプリおよび音声サービスは提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- アプリおよび音声サービスの変更や終了に関わるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

損害について

- 本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、災害による情報の破損などについては補償いたしかねます。
- お客様が別途準備された外部機器については保証の対象外です。その機器に記録される情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いかねます。
- 何らかの不具合により、接続した機器に正常に録画できなかった場合の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

●メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が紛失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

●録画機器などで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

液晶パネルについて

残像が発生する場合があります

●静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

お客様の情報の取り扱いについて

●放送事業者やアプリ提供事業者により、本機にお客様の設定が記録される場合があります。本機を修理・譲渡または廃棄される場合には、本機に記録されている情報をすべて消去してください。
本機に記録されているお客様の情報を消去するには「工場出荷時の設定にリセット」（**設定**の「デバイスとソフトウェア」）を実行してください。

●本機上で第三者が提供するアプリやウェブサイトを通じて、提供事業者がお客様の情報を収集する場合があります。提供事業者の規約等を事前にご確認ください。
  ●第三者が提供するアプリやウェブサイトを通じたお客様情報の収集・利用について、当社は責任を負いません。
  ●クレジットカードの番号や氏名などのお客様の情報を入力するときは、提供事業者が信用できるか十分注意してください。
  ●登録した情報は、提供事業者のサーバー等に登録される場合があります。本機を修理・譲渡または廃棄される場合は、提供事業者の規約等に従って消去してください。

●本機を使用してお客様以外の第三者が権利を有する音楽、映像や画像をテレビで表示するなど、著作権その他の知的財産権を侵害する行為は、行わないでください。また、被写体のプライバシー・肖像権などを害さないように十分ご配慮の上、お客様の責任でご利用ください。

●お客様がテレビの画面で入力・表示する情報（Wi-Fi ルーターのパスワードなど）は、第三者に見られる可能性がありますので、ご注意ください。

ACAS（エイキャス）番号について

4K8K 衛星放送対応の受信機には、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACAS チップを内蔵しています。
ACAS チップには ACAS 番号（20 桁）が書き込まれています。NHK の受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS 番号が必要です。

●ACAS 番号を確認するには「ACAS 情報」（**設定**の「ライブTV」→「放送オプション」→「一般」）を選び、表示された ACAS 番号をご確認ください。

●本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先の NHK や有料放送に解除または更新連絡をしてください。

無線 LAN/Bluetooth® 使用上のお願い

使用周波数帯

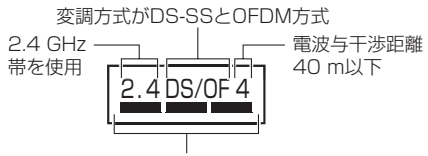
無線LANは2.4 GHz帯と5 GHz帯、Bluetooth®は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

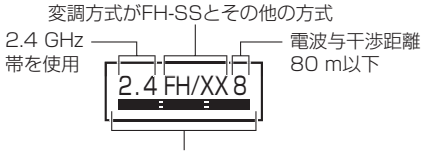
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、修理相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、修理相談窓口へお問い合わせください。

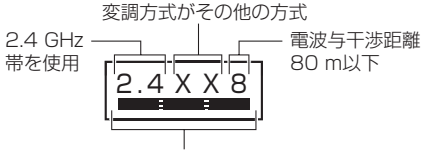
無線 LAN の周波数表示の見かた（本体背面に記載）



Bluetooth® の周波数表示の見かた（本体背面に記載）



（リモコンの電池挿入部のふた内部に記載）



機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解／改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器との Bluetooth® 無線通信を保証するものではありません。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様

テレビ本体

品番

JL-65YX10
JL-55YX10
JL-50YX10
JL-43YX10

種類

4K 液晶テレビ

表示パネル

液晶パネル、LED バックライト、VA 方式

受信可能放送

地上デジタル放送（ISDB-T）
● 周波数変換パススルー方式対応
BS・110 度 CS 放送（ISDB-S）
BS4K・110 度 CS4K 放送 (ISDB-S3)
● 8K 放送は受信できません。

受信機型サイズ

JL-65YX10 : 65V
JL-55YX10 : 55V
JL-50YX10 : 50V
JL-43YX10 : 43V

消費電力

JL-65YX10 : 260 W
JL-55YX10 : 220 W
JL-50YX10 : 180 W
JL-43YX10 : 150 W

リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」時　約 0.5 W※
※ 機能待機中（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」時の録画中など）は約 23 W
● 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。上記の電力を消費します。

年間消費電力量

JL-65YX10 : 190 kWh/ 年
JL-55YX10 : 161 kWh/ 年
JL-50YX10 : 134 kWh/ 年
JL-43YX10 : 125 kWh/ 年

● 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、一般家庭での 1 日の平均視聴時間（5.1 時間）を基準に算出した、一年間に消費する電力量です。

区分名

c（4K 以上液晶テレビ）
● 区分名とは：省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

画素数

水平 3840 × 垂直 2160

画面寸法

JL-65YX10 :
幅 142.8 cm × 高さ 80.4 cm
対角 163.9 cm

JL-55YX10 :
幅 121.0 cm × 高さ 68.0 cm
対角 138.8 cm

JL-50YX10 :
幅 109.6 cm × 高さ 61.6 cm
対角 125.7 cm

JL-43YX10 :
幅 94.1 cm × 高さ 52.9 cm
対角 108.0 cm

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

JL-65YX10 :
145.3 cm ×91.2 cm ×31.8 cm（スタンド含む）
145.3 cm ×84.0 cm ×8.3 cm（本体のみ）

JL-55YX10 :
123.4 cm ×78.7 cm ×27.9 cm（スタンド含む）
123.4 cm ×71.9 cm ×8.3 cm（本体のみ）

JL-50YX10 :
112.0 cm ×72.0 cm ×27.9 cm（スタンド含む）
112.0 cm ×65.2 cm ×8.3 cm（本体のみ）

JL-43YX10 :
96.5 cm ×61.7 cm ×21.9 cm（スタンド含む）
96.5 cm ×56.6 cm ×8.3 cm（本体のみ）

質量

JL-65YX10 :
約 21.0 kg（スタンド含む）
約 20.5 kg（本体のみ）

JL-55YX10 :
約 16.0 kg（スタンド含む）
約 15.5 kg（本体のみ）

JL-50YX10 :
約 11.5 kg（スタンド含む）
約 11.0 kg（本体のみ）

JL-43YX10 :
約 9.0 kg（スタンド含む）
約 8.5 kg（本体のみ）

使用電源

AC 100 V 50/60 Hz

音声実用最大出力

スピーカー：フルレンジ 2 個
30 W(15 W+15 W) JEITA

仕様（続き）

接続端子

HDMI 入力端子
4 系統
本機は HDMI-CEC に対応しています。
- HDMI 1 端子
  4K144 Hz／VRR(バリアブルリフレッシュレート)／ AMD FreeSync™ Premium に対応しています。
- HDMI 2 端子
  4K144 Hz／VRR(バリアブルリフレッシュレート)／ AMD FreeSync™ Premium ／ eARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）／ ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。

光デジタル音声出力端子
−18 dBm 660 nm

LAN 端子
10BASE-T/100BASE-TX

ヘッドホン／イヤホン／サブウーハー出力端子
φ3.5 mm ステレオミニジャック
16 ～ 32 Ω 推奨

USB 端子
2 系統
- USB 1 端子（録画用）：
  DC 5 V　MAX 900 mA
  スーパースピード USB(USB3.0)に対応しています。
- USB 2 端子（AV 周辺機器用）：
  DC 5 V　MAX 500 mA
  ハイスピード USB（USB2.0）に対応しています。

アンテナ受信入力端子
- **地上デジタル入力**
  90 MHz ～ 770 MHz(VHF：1 ～ 12 CH、UHF：13 ～ 62 CH、CATV：C13 ～ C63 CH)
  75 Ω
- **BS・110 度 CS デジタル - IF 入力**
  右旋：1032 MHz ～ 2071 MHz(IF 入力周波数)
  左旋：2224 MHz ～ 3224 MHz(IF 入力周波数)
  75 Ω
  電源供給：DC 15 V 出力（最大 4 W）

動作使用条件
周囲温度：0 ℃～ 35 ℃
相対湿度：20 %～ 80 %（結露なきこと）

無線 LAN

準拠規格
IEEE802.11a/n/ac：5 GHz 帯
- 従来の 11a(J52) のみの対応機器とは接続できません

IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz 帯

セキュリティ
WPA3-SAE(AES)
WPA2-PSK(TKIP/AES)
WPA-PSK(TKIP/AES)
WEP(64bit/128bit)

Bluetooth®

準拠規格
Bluetooth® 5.3：2.4 GHz 帯

対応プロファイル（Bluetooth® 通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したもの）
HID
HOGP
A2DP※
AVRCP
※ 対応コーデック：SBC、AAC、LDAC

リモコン

使用電源
単 4 形乾電池 2 個
- 電池はアルカリ乾電池をお使いください。（マンガン乾電池も使用できますが、アルカリ乾電池に比べて、電池寿命が短くなります）

操作距離
約 7 m 以内（テレビ正面距離）
- 使用する環境などによっては正しく動作しないことがあります。

- 本機に表示の記号は以下を示しています。

～	AC（交流）
⎓	DC（直流）
⧈	クラス II 機器 （二重絶縁構造）
⏻	スタンバイ

お知らせ
- このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- テレビの V 型（65V 型 /55V 型 /50V 型 /43V 型）は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

アフターサービスについて（よくお読みください）

修理などは…

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名		お買い上げ日	年　月　日
電話　（　）　－		ACAS番号 ※	

※ACAS 番号をご確認のうえ、記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

- 以下の操作で、本機の画面に ACAS 番号を表示することができます。
  (1) 設定の「ライブ TV」を選び、決定を押す
  (2)「放送オプション」を選び、決定を押す
  (3)「一般」を選び、決定を押す
  (4)「ACAS 情報」を選び、決定を押す
  表示された「ACAS 番号」をご確認ください。
- ACAS チップが故障した場合には、部品交換修理により ACAS 番号が変わります。その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更連絡してください。

修理を依頼されるまえに

取扱説明書 「故障かな!?」(➡29~31）とサポートサイトに記載の「よくあるお問い合わせ」をご確認いただいても直らない場合は、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名　4K 液晶テレビ
- 品　番
  - ☐ JL-65YX10
  - ☐ JL-55YX10
  - ☐ JL-50YX10
  - ☐ JL-43YX10

  お買い上げの品番に記入してください。
- 故障の状況　できるだけ具体的に

■ 修理を依頼されるとき

・株式会社ヤマダホールディングスより委託された修理会社にて対応いたします。

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体3年間 (リモコンは、お買い上げ日から1年間)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有料で修理いたします。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　8 年

このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

株式会社ヤマダホールディングス(または、株式会社ヤマダホールディングスから委託を受けた修理会社)は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください (2025 年 5 月現在)

映像・音響製品　保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には、「無料修理規定」(➡39)の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は「無料修理規定」(➡39)に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は「アフターサービスについて」(➡37)をご参照ください。

品　番 お買い上げの製品品番□にチェックしてください。	□ JL-65YX10 □ JL-55YX10 □ JL-50YX10 □ JL-43YX10
製造番号	
お客様	(ふりがな) お　名　前 ご　住　所　〒　　- お電話番号　(　　)　　-
販売店	店　　名 住　　所 電話番号

保証期間 (お買い上げ日から)	本体	3年間(但し、リモコンは1年間)	お買い上げ日	年　月　日

見本

株式会社ヤマダホールディングス　〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

●販売店からの保証書レシートは、ここに貼り付けて保管しておいてください。

保証書レシート貼付

< 無料修理規定 >

保証書の内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
保証期間は、お買い上げ日より本体3年間です。

1. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買上げ後の落下、取付場所の移設、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害 (硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障および損傷
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   ただし、車載を目的とした機器は除く
   (ホ) 電池や消耗または摩耗した部品交換の場合
   (ヘ) 一般家庭用以外 (例えば、業務用など) に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
   (ト) 本書のご添付がない場合
   (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

6. 修理ご相談窓口は裏表紙に記載の「修理に関するご相談窓口」をご参照ください。

※ お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、本書の「アフターサービスについて」をご覧ください。
※ 修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。
※ 製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等に機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となる場合があります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。
※ This warranty is valid only in Japan.

ホームページ内のサポートサイトでは以下の情報を掲載しています。

- ●テレビの使いこなし
- ●各種設定
- ●よくあるお問い合わせ
- ●取扱説明書

など

サポートサイト
https://www.yamada-denki.jp/service/y-select/

お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!?」(➡29~31) と、サポートサイトおよびスタートガイドに記載の「よくあるお問い合わせ」をご確認ください。解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

お客様ご相談窓口

使い方・お手入れなどのご相談窓口

ヤマダオリジナル商品サポートセンター

フリーダイヤル
0120-258-260
携帯OK

受付時間
午前 10 時～午後 7 時
（元日除く）

メールでのご相談
ymd_select@yamada-denki.jp

修理に関するご相談窓口

出張修理受付センター

0570-666-533

受付時間
午前 10 時～午後 7 時
（元日除く）

修理サービスサイト
https://www.yamada-denki.jp/service/repairs/

・掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！　テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか

- ● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ● 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ● ジージー・パチパチと異常な音がする。
- ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ● 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

廃棄時にご注意願います！

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式、有機エレクトロルミネセンス式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

株式会社ヤマダホールディングス

〒 370-0841　群馬県高崎市栄町 1 番 1 号